KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
Inches Centimetres

東洋文庫
4 17
2089

イ17
2089

源氏物語 秋の夜の月 桐壺

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月に入るこれ[illegible]

[illegible]

十四首

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一さのこころを、ゆかしうおぼえて、
ゆかしうおぼえてゆかしうおぼえて、
ゆかしうおぼえてゆかしうおぼえて、
ゆかしうおぼえて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源氏

心ばえ

重

源氏

尼君

源氏

尼君

源氏

尼君

源氏

源氏

菊

源氏

同

同

源氏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとゆかしくおもひて琴をとりてはしりのそきたれば源氏
みすをすこしあけていとなまめかしきをんなの人のきこえてゆかしく今はの
かたちの方成のまとをすこしあけて中よりとこなつの
花やうに咲出たるをかなりとかくせのうへにかゝれる
のをとりてかへりてこの花
源氏
夏草のゆくへをたにとはなれぬ
露のかゝれるほどをしるらん
内侍
きえぬまに人やとゝめんなつ草の
露のかゝれる程をしるらん
源氏
立あるゝ人のかたちもあてやかにこの内侍
人つてにあるかうのあるものをのもとにかゝれる源氏
つゆしもあるかりのやどりにたにとはゝ
なれるこの中の表
源氏
なれるあるとなくなくなんとそ
源氏
恨てもふかひなきなれらるゝ
内侍
なれてもなをなつかしきはさいなんの
源氏

中にえばうるはしくもあらぬ
ものをとあやうく
なれよるゝ
なれるこの
なれてこの
なれ
なれ
なれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八月廿日余日のあり明の月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大てい秋のわすれがたきなり　源氏
やはりうつりかはり心わかれは　月
うつりかはるとてうつりゆくは　春
その秋とをふかき事とおもふ　心のうちよりゆるるのみ　月
うつりかはるとてふかきもすくなし　八十帖の後の秋の物語　源氏
もうつりやすきの海よりもとしやもてしらしらひとこせんは　春
雪いとうつくしくてはらからぬあるはようなるあていとうるかなる
りうつくしきやんけ秋をあはれとうるおてて　源氏
ちりのなかれ　春のなかれ　秋をあはれとうるおてて　源氏
けいろをしのうはやうなるんをうるおてみて
きはうるいけのうみのうへのうつりかはり　春
うつくしきよりはけとうるおてはさ　源氏
心のうつくしく他にすぐれたるもの　春
みけうつりかはりてすくやうしやうるあてはて　勝月
やはりうつくしきはうるおてはさ　源氏
あるはてはるはるはうるはうるはう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すまは八年ゑて日ぐくてれくるとへしてある梅かのの
ゑ咲そめくゝ宮のそ花ゑ枕ゑ草とかゝ出
もてくゝらるき給かりく春はるり二月廿日あまりいつゝ年
春はるり作時心ゑ見ゑ人これはゑゑ海ゑどいとゑしく
南面の猫ハ蟹ゑゑりゑん一年の花のえゑ流のれゑゑき
ゑらはゑゑのいときこゑゑ給ゑまめて我て行ゑゑをすゑゑ出はれて
いつゑゑたゑゑ人のゑゑりきゑ梅ゑはゑゑゑゑゑゑ海ゑ
高をいゑまのゑゑりてゑん
ゑゑゑゑゑゑ

こうひ八十五番　右　左

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

せきやの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月つごりの[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋の夕風 源氏

[illegible]

秋の夕べと言ひつつ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の月のあれじ[illegible]くらげく[illegible]
風うちふくうち[illegible]
[illegible]
んうしきもつのくれやぐのりみち中風のつくるたよみら秋ぬ
けんうちはれてこれてこうけうこれ[illegible]
風うちふ紫いうう[illegible]
世[illegible]めとさゆし風の[illegible]
のうわうち[illegible]
みぐうしを[illegible]
うちうけげうり

南東ハ山うちく去れ紀の木ゑとけてう(ゆのさはゆ)
すぐれくなま人をうち[illegible]梅桃[illegible]
やうれ去のうてわうびとけぐうこいうつく秋の[illegible]
けのうまぜうう
中[illegible]

泉の水とうくすまきき[illegible]
して秋の[illegible]
ぐうれうけ[illegible]
小の東ハすぐけるう泉あうて[illegible]
うれ[illegible]
行ううこうぐうくあ[illegible]
[illegible]
うくうき秋の[illegible]
東行りてハ行くう場の[illegible]
[illegible]
世うと上あうもとうの[illegible]
西のううを小りてつうくう[illegible]
うけく[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]ぐらぐらでいと[illegible]く紅梅の咲出るる匂ひ[illegible]
[illegible]と[illegible]もるきこと[illegible]
[illegible]
年[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋の末の月氣すごきもいとゆくゑ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

笈ぶくろ　葉　ホ育

四月ついたちのはつかの笈のもとにてうきぶくろ　夕雪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七日の夕月はげにものうるはしかりけるを

[illegible]

若葉上

[illegible]

中みち[illegible]心みぢかくけさはあらじ　源氏

[illegible]

年月[illegible]

[illegible]

[illegible]

たふまよねてうこしをくこうり見いそのをばあくきの夕暮
うはるみくわうあるのげうこいをうれしるをのみ　柏木
とはうくよりをるをいうをを山桜をよりあ枝をくふみけうと　光源氏
をくはりくはり寺をうをされどとをとををて花とまをごうのいつ
友をつ言のいのうよをきうをよ光りうをふ平とをあのう言葉
やうをうきこの桜の寺をうをる花をるを他をそのとを花をいうをて
寺ををあをくをるのをつをうを海をををををををををををををを
みを活をかをうをる海をををををきをれを海をり
朝朗八をくをるをををををををををををををををををををををををを
ゐををあをうをの柏八ををみをををををををををををををををを
いをのををけんををををををををををををををををををををををを
大ねをうんの君し活をり活をくをををををををををををををををを
けをりををくを海をうををるをのををををををををををををををを
光をる庭のをををのををくをををををををををををををををををを
花のをををををををををををををををををををををををををををを

をををあるををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを

をかを　十八そ

をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを

元亨元年

元亨元年九月廿日水戸城のうらけよりいでゝ海をみるに
ていと高くいまはとてはまけをなげ
わたれるみなとにいとあとをやとして家々
ゝゝとのれひとすぢはるかなるに
遠
いとのごとけれどゝ足をまつるれ
芝のかりくのいとゝ風とうけなびくもと
きしかの行やうにてきの海をうつ
柴をうんこの世をでゝうらはくをよ
夕家よりはのせるゝ日ごとにはるかに
まつをもいでゝうくらんをくよ
あをれをとうをよきうゝ海をうつ
あすはあいうはかりしかられうんあ

十月中十日うれば仏のいでたまふ
あのゝ秋とうきあるべきことにて
うるれうゝ夏ゝくかりうゝ風のうゝよりきわひくうるわる

松風よりふきこそうる海のそはのそはのうゝ
うゝあををうる相しもつゝ
うる海のゝくすぢうる白く
ゝ松のをうゝみ海ひゝ
のりうれでうるこのゝ海ひいうゝ

廿日の月うゝふすみゝく海のをて白くみわうに
とうて松ゝもをまひくうゝ
さしをうゝひをうり

うのくと明ゆくに高いゝくゝふ
すぢをうゝをなりてゝもれとの
ゝみゝく遠ゝもゝけゝのうゝ松
いゝひをゝゝゝれうれすゝ

二月廿日ゝうるれば元もうゝ風のゝふゝそれ世土の物
もゝりをうり大ゝゝの紅のをゝゝもゝる気色をゝ
ゝうゝをうゝ

十三夜

[illegible]

二月の中ノ十日ごろの夕柳の[illegible]

[illegible]

十五日ノ月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

横笛 いう

[illegible]

くやまのあんうの風にうちしをれ[illegible]

すゝむし

[illegible]

十五夜の月のまこと[illegible]

[illegible]

[illegible]

大ふれ秋といふことを松ばらにきすがれし色
心りてまやどりとやどるすむしもよそのうす雲　世三　俊成
そのうへをけうるれうすみのもゆるまれなる秋の夜月　次郎院
月げにあるまじきまれなるまれなる秋ぞうれしか　俊成

夕雁　二十首

宮ぢ義成
ながうにそらにそんれんうれしも　夕雁　義家
心ぢのまきをうてをいうもんをうるうへいとのず　同
うれのうやうきせをいれるたりまてのあをつかのあをすぎ　同
大のうふうれのれうぬをうせずしうは他のあいうう　夕雁
おうこうへうおうをれうをかうつへうを立寄をけてゆくき　同
ふいん多賀の雁とかことはうくれのれうぬとけんとう思　義家
五しぬをけまうき油のうらめをうて我んのうゆをいるれ　夕雁
をううにおうくをみん山川のうれてのをつうをそすハ　同
をうるをうをうるを雁をつうをうて雁をうるん一緒　義家
秋の雁うまれをけはうしとうねの我しをひやいせ　夕雁

われをしいうをうてのうくをのんあるをしきうをうをき　義家
いををとうをつうをうをんうをうをうをうをうをうを義よをうをうを世代　夕雁
星をををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　源氏　紫上

[illegible]　源氏　明石中宮

[illegible]　夕霧

[illegible]　源氏　秋好

[illegible]　源氏

[illegible]　源氏　夕霧

[illegible]　源氏

[illegible]　同　同　同　明石中宮

[illegible]　源氏　夕霧

[illegible]　同　同　同　源氏　夕霧

[illegible]　源氏　同

[illegible]　源氏　夕霧

[illegible]　源氏　同

[illegible]　源氏　同

[illegible]　源氏　同

[illegible]

源氏

中務

源氏

同

[illegible]

同

[illegible]

源氏

同

同

同

同

同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

花のゝしたにうれぬべき所のりせバ風ふけたるすゝきハ白菊
ゝりつゝ見る人の袖のれハ白もこゝろもうつるなるべし　紅梅
もの思ふ人の身にしるよりあはれなるこゝろよめるゝ人のとゞめん　白菊

作河　二十四

杉て見ハこゝろ白ひもはゝうとすゝきのみ物のゝ花　女房　宰相君
ゝそはゝこゝろ白ゝりゝくゝもん三ゝ物の秋花　前
人ハ落花ゝ秋ゝうゝもん　ひゝゝゝ　前人中納言
ゝりゝゝ花ゝ三ゝ　梅の花ゝ　ゝゝゝゝ　女房　前
平門のゝゝゝ　ゝゝ　ゝゝゝゝ　前
ゝゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　伯耆　玉嬌子
梅ゝ花ゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　宰相君
ゝゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　中君
風ゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　大輔君
心ゝゝ池ゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ
大ゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ

梅花白ひあゝこゝにゝゝゝゝゝゝ　花ゝ　前
ゝゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　前
そゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　前人中納言
ゝゝゝゝ　ゝゝゝ　ゝゝゝ　中君

大君
中君
八文
冷泉院
八文
冒頭
蕙
日
大君
芝
日
大君
柏木
日
八文
句節
日
八文
日
芝
句節
大君
句節
芝
大君

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中君

[illegible]

芝

[illegible]

中宮

[illegible]

同

[illegible]

同

中君

芝

[illegible]

中君

芝

[illegible]

同

[illegible]

中君

芝

[illegible]

中君

芝

[illegible]

中君

芝

[illegible]

人はなつかしきこゝろの他のうつくしさやうきこゝろはなるゝ他

弁

[illegible]

中君

[illegible]

大納言

女房

中君

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やどり木とかりひろはずハふりとぬるこゝろ也　有り
われとうつる雨とをやどり木とをとゝのけるれば　弁尼
ふるさと雨我の中ずりかたのとのうりこゝにをとゝ出くま
ゝぶかーうこゆるまぎれるもしぶをつぬきとゝむるの
とゝろげよりけるひとゝ例のこゝろあとゝ少風れおゝれるー

なぬかの月ー雨のすきこゝまゝたりの雨をげうて　白
ぬゝうる桜ぶりよりも長月ぶかのゝ風よつけてゝゝれ　中君
すゝ紅のうゝ月ぬかるとゝ雨のもゝたゝらぬ桜よ地ゝけゝう　有り
雨代とゝけてゝゝんもゝうれどゝうふゝるぬをとゝゝれ　今上
雨のだのかれるゝゝ月ーいゝ雨のをよとゝゝぬもゝけゝきこの
ゝの子ゝれをゝもゝみゝすゝゝみゝゝて立のゝりけゝ雨ゝの花　和泉式部
ゝれるれ雨ゝもきゝにゝにかゝゝるゝゝやゝとゝけゝゝゝゝゝ雨ゝ　芳子

わつまや十二そ

ゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

浮舟　同　中将　尼君　同　中将　尼君　同　中将　浮舟　同　中将　浮舟

世中を　世中を　世中を　

[illegible]

夕夜 惟之

菱 ○入くしの岩守るものとびてとふらひくるめのすけるの[illegible]

○さそもぬのこはくつつるもりすうの[illegible]

[illegible]

三十しの大事

[illegible]

桃 ○雪く立るみちり一馬車うすぐてよのめのさる

[illegible]

百敷合七百九十二首

山路の雪 十六ノ

いとしつもるそ氣のきてつてあるしるしるる海冊

まきの山中しんれるをもるもはるれみらいまそうれすき

ちとわるるをもの月はるれるるるるれれかりしるるん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

於ごろ雷鳴ごろ雨降りてしばしくれぬうちよりはひ
はいくの下にぐりすまかりひらるあいそたる夕雲ふのね
ゆふぐれ雨降りて雷鳴ることはなはだしくとくに雷
山人のすまひくりんとぐりきもいとうる
すじんの雨とぐうじ雨ふりぬ
いろうるめるんれうるこのすうぐ海 海舟
ゆうれ沈さいこれ白雨ふりうるこるるのくぐ山人 芝
秋ふるくめりまりに風の吉月のえまいうるくぐ雨 海舟
はうぐるる雨ふりまりて雷鳴ぐ嵐の音雨あるる
麻の吉にゆうとしぐんるぐるるぐるぐるぐ